

政策調整会議の概要

開催日 令和5年12月7日（木）

◎項目

- 1 時間外勤務の状況について【総務部】
- 2 ハラスメントに関するアンケート集計結果について【総務部】

◎内容

1 時間外勤務の状況について【総務部】

総務部より、時間外勤務の状況（令和5年8月分、9月分、10月分）について、説明が行われた。

（総務部）

令和5年8月分の時間外勤務は、前年度比で8.2%減少している。昨年度と比較して水防対応などの増加要因はあったものの、昨年度は新型コロナ第7波への対応で時間外勤務が多かったことなどから全体としては減少している。9月分の時間外勤務は、前年度比で12.8%減少。昨年度と比較してイベント対応などによる増加はあるものの、昨年度は水防対応や、8月同様、新型コロナ第7波への対応による時間外勤務が多かったことなどから全体としては減少している。10月分の時間外勤務は、前年度比で4.0%増加。昨年度と比較すると各種計画の改定作業やイベント対応などで増加している状況。

10月までの累計では前年度比で0.3%の減少。今年度は、4年に1回の各種計画の改定のタイミングとなっていることから、時間外勤務が増加傾向にある。来週からは12月議会が始まることから時間外勤務の増加が予想される。各所属の管理職員は、職員の心身の健康管理のためにも、時間外勤務の状況を把握するとともに、PCの使用記録を活用するなどしながら、職員への声掛けをお願いする。

2 ハラスメントに関するアンケート集計結果について【総務部】

総務部より、ハラスメントに関するアンケート集計結果について、説明が行われた。

（総務部）

セクハラについては、行為者の認識と発生件数に大幅な乖離がある。例示された行為がセクハラに該当する、または、そう思われる可能性があるということに留意していただきたい。パワハラについてはすべての項目で発生件数が増加しており、セクハラ同様に、行為者の認識と発生件数に大幅な乖離があった。仕事上で必要な指示をする場合には、受け止め方に乖離が生じることを認識し、本人の納得性を高める丁寧な説明が必要と考えている。マタハラについては、発生件数が少なく理解が得られている状況。ただし、若手職員が増えていることや男性の育児休業の取得が増えていることから、引き続き言動に留意していただきたい。今回の集計結果を受けて、相談窓口を改めて周知するので、各部でも周知をお願いする。また、不適切な言動をお互いに指摘し合える風通しの良い職場づくりを推進していただきたい。さらに、ハラスメント対策ガイドブックを活用するなど、機会を捉えてハラスメントに関する理解促進をお願いする。